

そよかせ



備中松山城と雲海

CONTENTS

南岡山医療センターの難病患者へのリハビリテーション	
難病患者への「IT機器支援の方法」について	2
病棟行事について	3
当院の図書室をご紹介します	4
医療安全管理室の取り組みについて	5
つくし夏祭り	6
南岡山医療センターの 栄養サポート体制について	7
外来診療担当医師一覧表	8

病院の理念

私たちは
「ゆるぎない信頼、心からの満足」
をしていただける病院を目指します。

人としての尊厳を重視した上で
専門医療（国の定める政策医療）に誇りを持ち、
地域の皆様が安心して心身ともに癒される医療を
受けていただけるよう、全力を尽くします。

難病患者への「IT機器支援の方法」について

リハビリテーション科



IT機器とは

ITとは“Information Technology”の略であり、情報関連技術を使って操作する機器を意味しています。今回は難病患者がパソコン、テレビ、スマートフォン等を操作する為のスイッチ等について紹介していきます。



神経難病の方は症状の進行に伴い体が思うように動かすことが難しくなってきます。そのため、当院の作業療法ではその方にとってより良い入院生活を送れるよう残された機能に対し、IT機器を用いてサポートしています。

当院で活用しているIT機器を操作するスイッチの紹介

PPS
(ピエゾニューマティックスイッチ)



指先など、体の一部に装着しわずかな動きで作動

ポイントタッチ



静電気で作動するため、触れるだけで操作可能

スペック、ジェリービーン、ビッグスイッチ



大きささまざまな大きさがあり、握る動作が困難な方など、様々な使い方が可能

こちらは“PPS”と複数の機器を活用し、動画視聴やSNS家族とのメール等を操作している様子です。



※手足は全く動かすことができませんが、口の動きのみ可能な方の一例

IT機器を使用することでスタッフとのコミュニケーションを円滑に行い、患者さん自身の充実した余暇活動につなげることで、生活範囲を拡大することができます。運動機器・知覚、認知機能等に困難さを抱えていても、IT機器を活用することによって、物理的な条件に左右することなく活動の機会が得られることが最大の強みです。私たちは、その方の機能を最大に引き出せるよう取り組んでいます。

病棟行事について

1階病棟 副看護師長 武部 由美子

1階病棟は療養介護病床19床を含む神経筋難病の病棟です。私たちは日頃から合併症の予防や早期発見に努め、患者さんの体調管理を行なっています。療養介護病床は、サービスを充実させ療養生活の質を維持するため看護師と療養介助員で編成しています。人工呼吸器を装着されている方、嚥下障害がある方が長期の療養をされる中で、楽しんでいただけるよう年間を通して行事を行っているのでその様子を紹介します。

春はお花見を行いました。今年は開花宣言を今か今かと待ち侘びたものでしたが、桜の開花も約1週間程度で、日程調整が大変でした。患者さんの体調やご家族の都合を調整し、万が一の体調不良時は予備の日程も準備し万全を整えました。やっと桜が咲き、呼吸器を装着した患者さんと、ベッドで満開の桜を下から見上げることができました。まだ冷たさを感じる風に花びらが散る様子に患者さん、ご家族と共に感動したことを思い出します。「やっと春が来た、今年も桜を見ることができた」と喜ばれました。外気浴で感じられる風や光、匂いから季節の移り変わりを感じることができたのではないかと思います。コロナ禍からの移行期で面会制限が少しずつ緩和されましたが、散歩は病室では面会できない家族と共に過ごす時間となりました。



夏は花火の映像をプロジェクターで天井に投影して花火大会を楽しみました。患者さんの故郷の花火の映像を取り入れると「懐かしい、天井に映し出されて映像も音も迫力があつた」と喜んでもらえました。



味覚を楽しむ行事では、移動式のカフェを手作りし、味わっていただきました。「ビール*の苦みを何年か振りに味わうことができた。」「有名なカフェに行ったみたいだった」と過大な褒めの言葉もいただきました。



行事を行うにはアイデアを出し合い、準備には時間もかかります。しかし私たちは患者さんやご家族の喜ばれる姿を見るために最大限の努力をします。その瞬間に立ち会えることはとても喜ばしく誇りに思う瞬間だからです。これからも楽しみが日常のひとつになるように継続していきたいです。



*ノンアルコール飲料を提供

当院の図書室をご紹介します

患者支援室 医療相談係長 伊藤 明子

当院に、患者さん用の図書室があるのをご存知でしょうか。

正面玄関を入り、突き当り手前、右手のエレベーターに乗り、2階で降りてください。廊下の壁の絵を眺めていただきながら、しばらくまっすぐ進んでいただくと、右手に小さな図書室があります。

花の写真が載った美しい本や、お子さん向けの本。時代小説やアガサ・クリスティーのミステリーなど、いろいろなジャンルの本が並んでいます。これらの本は、近隣の図書館から譲り受けたものや寄贈されたものです。入院患者さんや、リハビリを受けている患者さんが待ち時間に利用して下さっているようです。

先日、図書室で、一人のご婦人とお話する機会がありました。その方は、ご家族がリハビリを受けておられる間、料理の本を見て、その日の献立の参考にすると話してくださいました。図書室の本が役に立っていると知ることができて嬉しかったです。また、絵本の位置が変わっているのを見ると、楽しく読んでくださったのかなと微笑ましく思ったりもします。

図書室には手指消毒剤を置き、衛生面にも気を付けていますので、安心してご利用ください。

少しでもよい時間をもっていただける場所であればと思っています。予約時間より少し早く病院に着いてしまったなという時など、図書室をのぞいてみてください。



医療安全管理室の取り組みについて

医療安全管理係長 香川 秀子

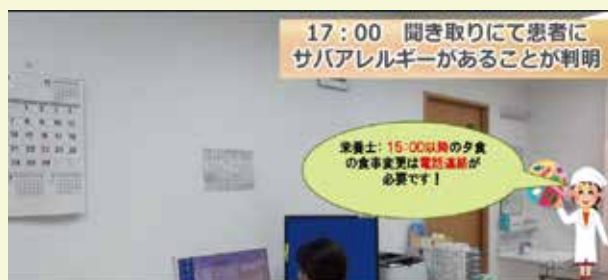
医療安全管理室では医療安全管理委員会の方針に基づき、組織横断的に院内の医療安全管理を担い、推進しています。医療安全に関する研修の開催もそのひとつです。職員の安全に対する意識、安全に遂行するための技能やチームの一員としての意識の向上を図るために医療安全管理に関する研修を年2回企画しています。

2023年度は、5月に「チームの力を引き上げる！多職種で取り組む医療安全」について、動画視聴研修を開催しました。10月には、医療安全推進担当者が中心となり、当院で実際に発生した事例を基に当院職員が出演、撮影、動画編集したオリジナル動画を作成しました。当院の職員が出演しているということもあり、身近な事例として、楽しみながら、研修を受講し、医療安全に関する意識の向上にもつながりました。

今年度は、「みんなが主役の医療安全 対話するチームづくり」というテーマで、患者・家族もチームの一員として考え、患者・家族とともに取り組む医療安全活動について動画視聴研修を行いました。2024年度2回目の研修については、職員からの期待も高いオリジナル動画研修を医療安全推進担当者中心に企画検討中です。

他にも、「医薬品の適正使用について」、「放射線科での検査を安全に行うために」など、医薬品に関すること、診療放射線に関する研修も企画しており、医療安全管理室では今後も引き続き、院内の医療安全管理に取り組んでまいります。

©「医療安全研修」オリジナル動画 一部抜粋





つくし夏祭り

療育指導室 保育士 安原 優子

今年は院内行事であるつくし病棟の夏行事を「つくし夏祭り」と題して、7月22日(月)～8月2日(金)の期間で開催しました。夏祭りの雰囲気を感じながら楽しく過ごすことを目的に、今年は金魚すくいや的当てゲーム「ボールコロコロ」などを中心に計画しました。久しぶりにつくし1病棟とつくし2病棟の合同開催の日や家族の参加もあり、賑やかな雰囲気の中で楽しむことが出来ました。

まずは、プレイルームに集合して、挨拶と共に参加者や職員、家族の紹介をしました。各病棟による手形やちぎり絵の手作りお神輿の登場です。「ワッショイ、ワッショイ！」の掛け声や太鼓などの楽器の音も加わり盛り上がりました。金魚すくいでは色々な表情の手作り金魚を、うまくすくえるように工夫しながら模擬体験して頂きました。「7匹もつれたよ！」と声が聞かれると「こっちは9匹だよ」の声に「よ～!金魚すくい名人」と歓声が聞かれ、思わず大笑いや拍手がいっぱいあり、楽しい雰囲気となりました。次は、的当てゲーム「ボールコロコロ」では、りんごあめ、焼きそば、たこ焼き、かき氷などの的が人気でした。欲しいものに思うようにボールが入らず、入った時の歓声に、拍手喝采でした。家族の方も参戦して頂き、「思ったよりうまくいかないなあ～」と声が聞こえました。



また、その期間中に一日だけ、各病棟で「かき氷屋さん」を開催しました。看護師長をはじめ、看護師、療育指導室職員も法被を着て開店です。ガリガリと氷の削れる音に利用者さんは興味津々で見つめていました。シロップは、イチゴ、メロン、ハワイアンブルーの3種類を用意し、「どれにしようかな？」と職員と一緒に選んだ中で一番人気はイチゴ味でした。氷の冷たさに大きく目を見開く方や満面の笑みで味わっている方等色々な表情を見せてくれました。プレイルームに参加出来なかった方は、部屋まで「出前かき氷屋」を行い氷の感触を体験しました。利用者さんはワクワクしながら体験しました。

夏の楽しい雰囲気を感じられたつくし夏祭りでした。心に残る思い出がまた1つ増えたことでしょう。



南岡山医療センターの栄養サポート体制について

栄養管理室長 植田 麻子

「低栄養」という言葉を聞いたことがありますか？
低栄養とは食欲の低下や噛む力の衰え、機能の低下により食事量が減り、エネルギーやたんぱく質が不足している状態です。低栄養の影響で、免疫力や体力の低下、感染症、褥瘡、骨格筋の萎縮といった状態になる可能性が高まってしまいます。早期に低栄養のリスクを発見し、介入することが重症化を防ぐことに繋がっていくのです。

栄養状態を良好に保つことは、病気に対する治療を有効に行うために重要です。今回は当院での栄養サポート体制について紹介させていただきます。

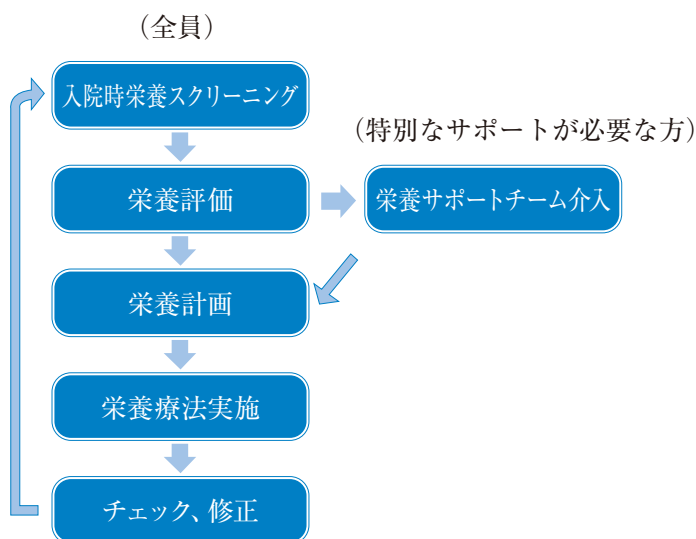
当院では、入院された方すべてに栄養スクリーニングを実施し、個別に栄養管理計画書を作成しています。栄養管理計画書を基に病棟の担当管理栄養士が一人ひとりにあわせた栄養サポートを行います。さらに特別な対応が必要な方には、栄養サポートチームが介入し、栄養改善への提案をしています。

当院の栄養サポートチームは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、臨床検査技師、事務職員で構成され、週1回、カンファレンス、回診を実施しています。定期的に評価を行いながら、多職種による提案を行います。また、褥瘡対策チーム、摂食嚥下チーム、認知症チームなどと連携し活動しています。

栄養サポートの内容は、転院先や地域の医療機関とも連携を行い、退院後もサポートが継続できるよう情報共有を行います。今後も、患者さんが栄養状態を良好な状態で維持できるように活動を続けていきたいと思っております。



栄養サポートの流れ



カンファレンス、回診の風景





みなみ君

外来診療担当医師一覧表

休診日：土・日・祝日

年末年始(12/29~1/3)

但し、急患の方はこの限りではありません。

受付時間 8:30~11:30 (予約外の方)
8:30~予約時間 (予約の方)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金	
一般内科	初診・再診	8:45~12:00	木村 五郎	藤原 努	石賀 充典	藤井 誠	上田 弥生
	再診		-	-	藤原 努	上田 弥生	-
循環器内科 (生活習慣病外来)	初診(予約)・再診	8:45~12:00	富田 純子	-	-	富田 純子	富田 純子
呼吸器内科	初診・再診	8:45~12:00	谷本 安	谷本 安	-	谷本 安	木村 五郎
			藤井 誠	木村 五郎	-	-	藤井 誠
			石賀 充典	石賀 充典	板野 純子	-	-
			板野 純子	板野 純子	-	-	-
	再診	13:30~17:00	-	-	木村 五郎	-	-
脳神経内科	初診・再診	8:45~12:00	田邊 康之	坂井 研一 (もの忘れ)	麓 直浩	原口 俊	逸見 祥司
	再診	8:45~12:00	-	田邊 康之	-	坂井 研一	-
消化器内科	初診・再診	8:45~12:00	-	-	平野 淳	平野 淳	-
皮膚科	初診・再診	8:45~12:00	藤原 倫高	藤原 倫高	藤原 倫高	藤原 倫高	藤原 倫高
	再診	第1・3月曜 15:30~16:30	藤原 倫高 (受付16:15まで)	-	-	-	-
		第2・4・5月曜 15:30~17:00	藤原 倫高 (受付16:30まで)	-	-	-	-
再診(予約)	16:00~17:00	-	-	-	藤原 倫高	-	
耳鼻咽喉科	初診・再診	8:45~12:00	-	-	-	-	清水 藍子
整形外科	初診・再診	8:45~12:00	藤田 寧子	藤田 寧子	-	藤田 寧子	藤田 寧子 (再診予約のみ)
リハビリテーション科 (摂食嚥下専門)	初診・再診	13:00~14:00	-	谷本 安 (予約のみ)	-	-	-
小児科	初診・再診	8:45~12:00	遠藤 文香	産賀 温恵	井上 美智子	吉永 治美	水内 秀次
小児神経科	初診(予約) 再診	8:45~12:00	吉永 治美	吉永 治美	-	井上 美智子	遠藤 文香
		13:30~15:30	-	吉永 治美	遠藤 文香 (14:00~)	吉永 治美	-
		15:30~17:00	井上 美智子 (2・5週 16:00~) (4週 15:30~)	-	遠藤 文香 (~16:00)	井上 美智子	遠藤 文香
アレルギー	初診(内科)	10:00~11:00	-	-	谷本 安	-	-
	再診(皮膚科)	8:45~12:00	藤原 倫高	藤原 倫高	藤原 倫高	藤原 倫高	藤原 倫高
	初診(予約)・再診 (内科)	14:00~16:00	谷本 安・木村 五郎	-	-	-	-
	初診(予約)(小児科)	14:30~15:30	水内 秀次	-	-	水内 秀次	-
	再診(小児科)	15:30~17:00	-	-	-	-	水内 秀次
	再診(皮膚科)	15:30~17:00	藤原 倫高	-	-	藤原 倫高 (16:00~)	-
喘息外来	再診	14:00~16:00	-	-	-	谷本 安	-
睡眠時無呼吸 外来	初診	9:30~10:00	-	石賀 充典	-	-	-
	初診・再診	11:00~12:00	-	-	-	-	谷本 安
禁煙外来	初診・再診	13:30~16:00	-	-	-	藤井 誠	-
間質性肺炎外来	初診	10:00~11:00	-	-	-	-	谷本 安・板野 純子
小児肥満外来	再診	8:45~12:00	水内 秀次 (~11:00)	-	-	-	水内 秀次
	初診(予約)	14:30~15:30	-	-	-	水内 秀次	-
	再診	15:30~17:00	水内 秀次	-	-	-	水内 秀次
歯科	初診・再診	8:45~12:00	小野 瀬里奈	山路 公造	-	大原 直子	小野 瀬里奈
	再診	13:30~17:00		-	-	-	-
乳幼児健診 予防接種	乳幼児健診	14:30~15:00	-	-	担当医	-	-
	予防接種	15:00~15:30	-	-	担当医	-	-

紹介状をお持ちの方は、事前に **病診連携室** で予約を行ってください。
(予約無しで当日に紹介状をご持参される場合、お待ちいただくことがあります)
初診(予約)を受診の方は、事前に **病診連携室** で予約を行ってください。

病診連携室
086-482-3031



独立行政法人国立病院機構 南岡山医療センター

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島4066
電話(086)482-1121(代表)
FAX(086)482-3883
病診連携室 FAX(086)482-3051
休日・時間外にFAXを送られる場合は事前に
代表電話へご連絡ください。
<https://minamiokayama.hosp.go.jp/>

